

「全鍍連」 2020年 10月号 いきいき地域

千葉県鍍金工業組合 福井 通人(福井電化工業(株) 代表取締役社長)

「コロナ後のニューノーマル」



コロナ禍のなか、皆さん如何お過ごしでしょうか。コロナの影響で私たちの生活は一変してしまいました。リモートやテレワーク等が3年かかるところが2カ月で進んでしまったと言います。世の中は私たちの都合など待ってはくれません。

昨年までは、組合の理事会や例会は市川駅近くの会場で行ったり、納涼会は千葉マリスタジアムで野球観戦、忘年会や新年会も当たり前の様に行われておりましたが、今年はどうなるか分かりません。ブロック会議もめっきコンクールも技能検定も霞が関こども見学デーも中止です。

それでも何とかできないかと、千葉組合はLINEによるWEB会議行う事になりました。その他、各組合青年部様に誘って頂き、ZOOMやスカイプ等色々なツールを経験させて頂き、やはりZOOMが一番使いやすい様に感じました。先日行われた情報国際の三役会でもZOOMが使われており、私は山崎副会長と一緒に久々に機械振興会館から出席しましたが、他の九州、大阪、東京が一画面で繋がり、問題なく会議が出来てしまうので技術の進歩には驚かされます。

あと10年位すると、ドラえものの「どこでもドア」の様にVRでどこでも一瞬で行ける未来がやって来るかもしれません。近い将来、今まで行っていた会議がVR上で全国どこにいても参加できる様になると思います。しかし、そうなる则ち一番の情報交換の場であるお酒を飲みながらの懇親会がなくなってしまい、少し寂しい気がします。

千葉県鍍金組合は7月17日に工場見学会と懇親会を実施しました。1月の新年会以来約6カ月ぶりに皆さまとお会いしたのですが、WEB会議をしているせいかそんなに違和感がありませんでした。しかしお酒を飲みながらの懇親会はWEBと違い有意義で楽しい時間を過ごすことができました。

WEBの良いところは、当社が毎週金曜日休業になってしまい、雇用助成金の貰えない私が電話番をしているので、夕方にWEB会議を開いて頂き、仕事から雑談まで話す機会が増えた事です。昨年までは年数回の役員会や青年部でしか会わなかったのですが、最近ではWEBで毎週会っています。

コロナ禍で変わって行くもの、変わらないもの、色々あると思いますが、世界はコロナ禍の影響で急速に変化し始めています。この流れに乗り遅れない様にアンテナを伸ばし情報を収集し新しいツールを使い体験する事が重要を考えます。

下記にWEB会議用ソフトの長所と短所を記載しますので、ご参考にして頂ければ幸いです。

ZOOM

長所：100人まで参加可能（課金すれば増やせます）参加者はZOOMのインストールやアカウント作成不要、ミーティングIDとパスワードを入力すれば参加できる。画面共有や音声を認識して画面を切り替えてくれる。講演や大人数でのWEB会議に最適。

短所：主催者は課金（2000円）しないと40分しか使用できない。主催者の技量が必要。

ログインに手間がかかる（IDとパスワードの入力が必要）。大人数だと回線が重くなる。セキュリティーが脆弱との噂も・・・

Skype

長所：10人以下の場合お勧め、グループ登録しておけばミーティングに容易に参加できる。

無料で参加できる。Skypeアカウントを取得している方が比較的多い。

短所：全員Skypeのアカウント取得が必要。事前にグループ登録が必要。10人以上だと回線が遅くなり顔も出てこない。4人以外は小窓の動画になってしまう。

LINE

長所：6人以下の場合にお勧め、元々LINEグループがあればすぐにWEBミーティングが可能。予定を決めてなくても集まった方だけでミーティングができる。無料で参加できる。

短所：ラインのアカウントが必要。スマホとiPadだと4人までしか表示されない。パソコンとアンドロイドタブレットだと6人まで表示される。パソコンの設定は分かり辛い。